

学校コード F118310105628
注3

設置年度 令和 5年度
計画の区分： 学部の設置
注1

届出

注2
福井工業大学 経営情報学部

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人金井学園
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	庶務課
職名・氏名	カチョウ ヤマモト ケン 課長 山本 健
電話番号	0778-29-7864（内線：2040）
（夜間）	同 上
e-mail	syomu-u@fukui-ut.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

経営情報学部

＜経営情報学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	16
6. 附帯事項等に対する履行状況等	27
7. その他全般的事項	29

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人金井学園

(2) 大 学 名

福井工業大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒910-8505

福井県福井市学園3丁目6番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(カナイ ケン) 金 井 兼 (平成4年12月)		
学 長	(カケシタ トモユキ) 掛 下 知行 (令和4年4月)		
学 部 長	(ババグチ ノボル) 馬 場 口 登 (令和5年4月)		
学科長等	(ババグチ ノボル) 馬 場 口 登 (令和5年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)

令和5年度に報告する内容 → (5)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
経営情報学部 経営情報学科 学士 (経営情報学)	工学関係	4年	90人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	360人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に入力してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	—人 (—) [—]	—人 (—) [—]	—人 (—) [—]	—人 (—) [—]	—人 (—) [—]	—人 (—) [—]	—人 (—) [—]	—人 (—) [—]	—人 (—) [—]	—人 (—) [—]	—人 (—) [—]	—人 (—) [—]	90人 (—) [—]	—人 (—) [—]	1.12倍	1.12倍	1.12倍	1.12倍	
志願者数	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	405 (—) [3]	—人 (—) [—]					
受験者数	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	399 (—) [0]	—人 (—) [—]					
合格者数	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	120 (—) [0]	—人 (—) [—]					
B 入学者数	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	101 (—) [0]	—人 (—) [—]					
入学定員超過率 B/A	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.12	—					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	101 [0] (—)	— [—] (—)	
2 年次	[]内には、留学生の状況について、()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
3 年次			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
4 年次	[]内には、留学生の状況について、()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。		[]内には、留学生の状況について、()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。		[]内には、留学生の状況について、()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
計							— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	101 [0] (—)	— [—] (—)	

(注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	101 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{101} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜経営情報学部 経営情報学科＞

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
人 文 社 会	哲学入門－人生哲学	1前後		2								1
	心理学入門－心のはたらき	1前後		2								1
	女性学入門－女性の生き方論	1前後		2								1
	コミュニケーション論	1前後		2								1
	人と社会	2前後		2								1
	法学入門－市民社会と法	2前後		2								1
	日本国憲法	2前後		2								1
	経済学入門－現代社会と経済	2前後		2								1
	マスコミ論－新聞を読み解く力	3前後		2								1
	日本文化の歴史	3前後		2								1
	比較文化論－世界の文化	3前後		2								1
	文学入門－小説・詩の世界	3前後		2								1
	小計(12科目)	－	0	24	0	0	0	0	0	0	0	兼9
外 国 語	ベーシックコミュニケーションⅠ	1前	1									3
	ベーシックコミュニケーションⅡ	1後	1									3
	アドバンスコミュニケーションⅠ	2前	1									4
	アドバンスコミュニケーションⅡ	2後	1									2
	テクニカルコミュニケーションⅠ	3前		2								1
	テクニカルコミュニケーションⅡ	3後		2								1
	テクニカルコミュニケーションⅢ	4前		2								1
	テクニカルコミュニケーションⅣ	4後		2								1
	ビジネスコミュニケーションⅠ	3前		2								3
	ビジネスコミュニケーションⅡ	3後		2								3
	ビジネスコミュニケーションⅢ	4前		2								2
	ビジネスコミュニケーションⅣ	4後		2								1
	リスニングⅠ	1前	1									5
	リスニングⅡ	1後	1									5
	TOEICⅠ	2前	2									3
	TOEICⅡ	2後	2									3
	TOEICⅢ	3前		2								3
TOEICⅣ	3後		2								3	
海外語学研修Ⅰ	1・2・3・4後		4								1	
海外語学研修Ⅱ	1・2・3・4後		4								1	
海外語学研修Ⅲ	1・2・3・4後		4								1	
海外語学研修Ⅳ	1・2・3・4後		4								1	
小計(22科目)	－	10	36	0	0	0	0	0	0	0	兼13	
キ ャ リ ア 形 成	キャリアデザイン	1後	1									1
	キャリアアップゼミⅠ	1前	1									1
	キャリアアップゼミⅡ	2後	1									1
	インターンシップA	2前		2		1						1
	インターンシップB	2前		2		1						1
	地域共生学	2前後		2								1
	課題研究	2前	2			2	1					
	小計(7科目)	－	5	6	0	3	1	0	0	0	0	兼2
科 学 基 礎	日本語の基礎	1前		2								3
	日本語表現法Ⅰ	1後	2									4
	日本語表現法Ⅱ	2前		2								2
	コンピューターテラシ	1前	2			2	1					
	数学基礎	1前		2								4
	教養数学	1前		2								1
	微分積分学	1後		2								1
	データと数学	1後		2		1						
	科学リテラシ	1前		2		2						6
	基礎健康科学	1前後		2								1
	小計(10科目)	－	4	16	0	4	1	0	0	0	0	兼17

【令和5年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
人 文 社 会	哲学入門－人生哲学	1前後		2								1
	心理学入門－心のはたらき	1前後		2								1
	女性学入門－女性の生き方論	1前後		2								1
	コミュニケーション論	1前後		2								1
	人と社会	2前後		2								1
	法学入門－市民社会と法	2前後		2								1
	日本国憲法	2前後		2								1
	経済学入門－現代社会と経済	2前後		2								1
	マスコミ論－新聞を読み解く力	3前後		2								1
	日本文化の歴史	3前後		2								1
	比較文化論－世界の文化	3前後		2								1
	文学入門－小説・詩の世界	3前後		2								1
	小計(12科目)	－	0	24	0	0	0	0	0	0		兼11
外 国 語	ベーシックコミュニケーションⅠ	1前	1									5
	ベーシックコミュニケーションⅡ	1後	1									5
	アドバンスコミュニケーションⅠ	2前	1									4
	アドバンスコミュニケーションⅡ	2後	1									2
	テクニカルコミュニケーションⅠ	3前		2								1
	テクニカルコミュニケーションⅡ	3後		2								1
	テクニカルコミュニケーションⅢ	4前		2								1
	テクニカルコミュニケーションⅣ	4後		2								1
	ビジネスコミュニケーションⅠ	3前		2								3
	ビジネスコミュニケーションⅡ	3後		2								3
	ビジネスコミュニケーションⅢ	4前		2								2
	ビジネスコミュニケーションⅣ	4後		2								1
	リスニングⅠ	1前	1									5
	リスニングⅡ	1後	1									5
	TOEICⅠ	2前	2									3
	TOEICⅡ	2後	2									3
	TOEICⅢ	3前		2								3
TOEICⅣ	3後		2								3	
海外語学研修Ⅰ	1・2・3・4後		4								1	
海外語学研修Ⅱ	1・2・3・4後		4								1	
海外語学研修Ⅲ	1・2・3・4後		4								1	
海外語学研修Ⅳ	1・2・3・4後		4								1	
小計(22科目)	－	10	36	0	0	0	0	0	0	0	兼13	
キ ャ リ ア 形 成	キャリアデザイン	1後	1				1					1
	キャリアアップゼミⅠ	1前	1									1
	キャリアアップゼミⅡ	2後	1									1
	インターンシップA	2前		2		1						1
	インターンシップB	2前		2		1						1
	地域共生学	2前後		2								1
	課題研究	2前	2			2	1					
	小計(7科目)	－	5	6	0	3	1	0	0	0		兼2
科 学 基 礎	日本語の基礎	1前		2								3
	日本語表現法Ⅰ	1後	2									4
	日本語表現法Ⅱ	2前		2								2
	コンピューターテラシ	1前	2			2	1					
	数学基礎	1前		2								1
	教養数学	1前		2		1						1
	微分積分学	1後		2								2
	データと数学	1後		2		1						1
	科学リテラシ	1前		2		2						6
	基礎健康科学	1前後		2								1
	小計(10科目)	－	4	16	0	4	1	0	0	0		兼17

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学部共通科目	経営情報学概論	1前	2			1					
	データと情報の倫理	1後	2			1					
	基礎統計学	2前	2			1					
	経営情報実践学演習基礎	2後	2			5					
	AIと情報の倫理	2前		1		1					
	知的財産概論Ⅰ	2前		1							1
	知的財産概論Ⅱ	2前		1							3
	社会調査論	2後		2		1					
	経営情報実践学演習	3前		2		3					
	小計(9科目)	—	8	7	0	9	0	0	0	0	兼4
専門基礎科目	データサイエンス概論	1後	2					1			
	プログラミング実習Ⅰ	1前	2			2		1			
	プログラミング実習Ⅱ	1後	2			2		1			
	情報数学	1前		2		1					
	ハードウェア概論	1後		2		1					
	ビジネスシミュレーション	1後		2		2					
	経営数理基礎	1後		2		1					
	簿記原理Ⅰ	1前		2		1					
	簿記原理Ⅱ	1後		2		1					
	政策科学概論	1後		2			1				
	小計(10科目)	—	6	14	0	7	1	2	0	0	0
専門応用科目	データサイエンス演習Ⅰ	2前	2					2			
	データサイエンス演習Ⅱ	2後		2		1					
	プレゼンテーション技法	2前		2		2					
	ネットワークシステム論	2前		2		1					
	情報セキュリティ	2後		2		1					
	データベース論Ⅰ	2後		2		1					
	プログラミング実習Ⅲ	2前		2		1					
	プログラミング実習Ⅳ	2後		2		1					
	データ構造とアルゴリズム	2前		2		1					
	コンピュータアーキテクチャ	2後		2		1					
	機械学習Ⅰ	2前		2		1					
	機械学習Ⅱ	2後		2		1					
	統計学演習	2後		2				1			
	マーケティングⅠ	2前		2		1					
	マーケティングⅡ	2後		2		1					
	上級簿記Ⅰ	2前		2		1					
	上級簿記Ⅱ	2後		2		1					
	原価計算	2前		2		1					
	ファイナンス	2前		2				1			
	環境科学	2前		2		1					
	政策科学Ⅰ	2後		2			1				
	経済分析基礎	2前		2		1					
	ミクロ経済分析	2後		2		1					
	マクロ経済分析	2後		2		1					
	企業研究Ⅰ	2前		1							1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
学部共通科目	経営情報学概論	1前	2			1					
	データと情報の倫理	1後	2			1					
	基礎統計学	2前	2			1					
	経営情報実践学演習基礎	2後	2			5					
	AIと情報の倫理	2前		1		1					
	知的財産概論Ⅰ	2前		1							1
	知的財産概論Ⅱ	2前		1							3
	社会調査論	2後		2		1					
	経営情報実践学演習	3前		2		3					
	小計(9科目)	—	8	7	0	9	0	0	0	0	兼4
専門基礎科目	データサイエンス概論	1後	2					1			
	プログラミング実習Ⅰ	1前	2			2		1			
	プログラミング実習Ⅱ	1後	2			2		1			
	情報数学	1前		2		1					
	ハードウェア概論	1後		2		1					
	ビジネスシミュレーション	1後		2		2					
	経営数理基礎	1後		2		1					
	簿記原理Ⅰ	1前		2		1					
	簿記原理Ⅱ	1後		2		1					
	政策科学概論	1後		2			1				
	小計(10科目)	—	6	14	0	7	1	2	0	0	0
専門応用科目	データサイエンス演習Ⅰ	2前	2					2			
	データサイエンス演習Ⅱ	2後		2		1					
	プレゼンテーション技法	2前		2		2					
	ネットワークシステム論	2前		2		1					
	情報セキュリティ	2後		2		1					
	データベース論Ⅰ	2後		2		1					
	プログラミング実習Ⅲ	2前		2		1					
	プログラミング実習Ⅳ	2後		2		1					
	データ構造とアルゴリズム	2前		2		1					
	コンピュータアーキテクチャ	2後		2		1					
	機械学習Ⅰ	2前		2		1					
	機械学習Ⅱ	2後		2		1					
	統計学演習	2後		2				1			
	マーケティングⅠ	2前		2		1					
	マーケティングⅡ	2後		2		1					
	上級簿記Ⅰ	2前		2		1					
	上級簿記Ⅱ	2後		2		1					
	原価計算	2前		2		1					
	ファイナンス	2前		2				1			
	環境科学	2前		2		1					
	政策科学Ⅰ	2後		2			1				
	経済分析基礎	2前		2		1					
	ミクロ経済分析	2後		2		1					
	マクロ経済分析	2後		2		1					
	企業研究Ⅰ	2前		1							1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門応用科目	データサイエンス実習	3前	2			4		2			
	画像情報処理論	3前		2		1					
	データマイニング	3後		2		1					
	ソフトウェア開発Ⅰ	3前		2		1					
	ソフトウェア開発Ⅱ	3後		2		1					
	データベース論Ⅱ	3前		2		1					
	オペレーションズリサーチⅠ	3前		2		1					
	オペレーションズリサーチⅡ	3後		2		1					
	計量モデル分析	3後		2				1			
	多変量解析	3後		2		1					
	地域データ解析	3後		2				1			
	ビジネスプランニング	3前		2		1					
	管理会計論	3前		2		1					
	財務会計論	3後		2		1					
	企業論	3前		2		1					
	労務管理論	3後		2		1					
	環境経営論	3後		2		1					
	産業連関分析	3前		2				1			
	ロジスティクスⅠ	3前		2			1				
	ロジスティクスⅡ	3後		2			1				
	メディア論	3後		2		1					
	費用便益分析	3後		2		1					
	地域科学	3前		2			1				
	政策科学Ⅱ	3前		2		1					
	企業研究Ⅱ	3前		1							1
	情報と職業	4前		2		1					1
	地域産業論	4前		2			1				
	システム工学	4前		2		1					
	小計(53科目)	—	4	100	0	11	1	2	0	0	兼2
全学共通科目	卒業研究	4通	6			11	1	2			
	小計(1科目)	—	6	0	0	11	1	2	0	0	0
教職に関する科目	情報科教育法Ⅰ	3前			2	1					
	情報科教育法Ⅱ	3後			2	1					
	小計(2科目)	—	0	0	4	1	0	0	0	0	0
	教育原理	2前			2						1
	教職論	1後			2						1
	教育経営論	2後			2						1
	教育心理学	2前			2						2
	発達心理学	3前			2						1
	特別支援教育	2前			1						2
	教育課程論	3後			2						1
	小計(7科目)	—	0	0	13	0	0	0	0	0	兼6
	総合的な学習の時間の指導法	3前			1						2
	特別活動論	3前			1						1
	教育方法 (情報通信技術の活用を含む)	2後			2						1
	生徒・進路指導論	3後			2						1
	学校教育相談	2後			2						1
	小計(5科目)	—	0	0	8	0	0	0	0	0	兼5
	教育実習Ⅰ	4前			3						1
	教職実践演習(中・高)	4後			2						2
	小計(2科目)	—	0	0	5	0	0	0	0	0	兼2
	道徳教育	2前			2						1
	小計(1科目)	—	0	0	2	0	0	0	0	0	兼1
	合計(141科目)	—	43	203	32	11	1	2	0	0	兼52

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門応用科目	データサイエンス実習	3前	2			4		2			
	画像情報処理論	3前		2		1					
	データマイニング	3後		2		1					
	ソフトウェア開発Ⅰ	3前		2		1					
	ソフトウェア開発Ⅱ	3後		2		1					
	データベース論Ⅱ	3前		2		1					
	オペレーションズリサーチⅠ	3前		2		1					
	オペレーションズリサーチⅡ	3後		2		1					
	計量モデル分析	3後		2				1			
	多変量解析	3後		2		1					
	地域データ解析	3後		2				1			
	ビジネスプランニング	3前		2		1					
	管理会計論	3前		2		1					
	財務会計論	3後		2		1					
	企業論	3前		2		1					
	労務管理論	3後		2		1					
	環境経営論	3後		2		1					
	産業連関分析	3前		2				1			
	ロジスティクスⅠ	3前		2			1				
	ロジスティクスⅡ	3後		2			1				
	メディア論	3後		2		1					
	費用便益分析	3後		2		1					
	地域科学	3前		2			1				
	政策科学Ⅱ	3前		2		1					
	企業研究Ⅱ	3前		1							1
	情報と職業	4前		2		1					1
	地域産業論	4前		2			1				
	システム工学	4前		2		1					
	小計(53科目)	—	4	100	0	11	1	2	0	0	兼2
全学共通科目	卒業研究	4通	6			11	1	2			
	小計(1科目)	—	6	0	0	11	1	2	0	0	0
教職に関する科目	情報科教育法Ⅰ	3前			2	1					
	情報科教育法Ⅱ	3後			2	1					
	小計(2科目)	—	0	0	4	1	0	0	0	0	0
	教育原理	2前			2						1
	教職論	1後			2						1
	教育経営論	2後			2						1
	教育心理学	2前			2						2
	発達心理学	3前			2						1
	特別支援教育	2前			1						1
	教育課程論	3後			2						1
	小計(7科目)	—	0	0	13	0	0	0	0	0	兼6
	総合的な学習の時間の指導法	3前			1						1
	特別活動論	3前			1						1
	教育方法 (情報通信技術の活用を含む)	2後			2						1
	生徒・進路指導論	3後			2						1
	学校教育相談	2後			2						1
	小計(5科目)	—	0	0	8	0	0	0	0	0	兼5
	教育実習Ⅰ	4前			3						1
	教職実践演習(中・高)	4後			2						2
	小計(2科目)	—	0	0	5	0	0	0	0	0	兼2
	道徳教育	2前			2						1
	小計(1科目)	—	0	0	2	0	0	0	0	0	兼1
	合計(141科目)	—	43	203	32	11	1	2	0	0	兼48

卒業要件及び履修方法
・人文社会: 10単位以上 ・外国語: 必修科目10単位を含めて20単位以上 ・科学基礎: 必修科目4単位を含めて8単位以上 ・キャリア形成: 必修科目5単位を含めて5単位以上 ・科学基礎: 必修科目4単位を含めて8単位以上 ・教養分野科目の必修科目19単位を含めて43単位以上、専門分野科目の必修科目24単位を含めて81単位以上、合計124単位以上の単位を修得した者に卒業を認める。 ・なお、教養分野科目の科学基礎科目のうち、数学基礎、教養数学、微分積分学、データと数学から2単位を選択必修とする。 ・1年間に登録できる単位数の上限は48単位とする。ただし、履修登録する時点での累積GPAが3.80以上の場合、上限52単位まで登録できる。

卒業要件及び履修方法
・人文社会: 10単位以上 ・外国語: 必修科目10単位を含めて20単位以上 ・科学基礎: 必修科目4単位を含めて8単位以上 ・キャリア形成: 必修科目5単位を含めて5単位以上 ・科学基礎: 必修科目4単位を含めて8単位以上 ・教養分野科目の必修科目19単位を含めて43単位以上、専門分野科目の必修科目24単位を含めて81単位以上、合計124単位以上の単位を修得した者に卒業を認める。 ・なお、教養分野科目の科学基礎科目のうち、数学基礎、教養数学、微分積分学、データと数学から2単位を選択必修とする。 ・1年間に登録できる単位数の上限は48単位とする。ただし、履修登録する時点での累積GPAが3.80以上の場合、上限52単位まで登録できる。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・担当変更の理由により、「キャリアデザイン」の専任教員の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当変更の理由により、「教養数学」の専任教員の配置を「教授0」から「教授1」に変更。

- (注) ・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
24 科目	100 科目	17 科目	141 科目	24 科目 [-]	100 科目 [-]	17 科目 [-]	141 科目 [-]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{141} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 新規土地取得（R5）			
	校 舎 敷 地	86,863㎡	0㎡	0㎡	86,863㎡				
	運動場用地	135,541㎡	0㎡	0㎡	135,541㎡				
	小 計	222,404㎡	0㎡	0㎡	222,404㎡				
	そ の 他	95,414 93,063 ㎡	0㎡	0㎡	95,414 93,063 ㎡				
	合 計	317,818 315,467 ㎡	0㎡	0㎡	317,818 315,467 ㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体			
		48,763㎡ (48,763㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	48,763㎡ (48,763㎡)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
		55室	38室	151室	5室 (補助職員 0 人)	2室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		経営情報学部 経営情報学科			14 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕冊	学術雑誌 〔うち外国書〕種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体 173,899 図書 173,883 学術冊子 1,125 1,118 視聴覚資料 2,334 2,795 ※うち5,000冊は倉庫に保管	
		経営情報学部 経営情報学科	197 [10] (17 [0])	6 [0] (3 [0])	1 [0] (1 [0])	(0)	0 (0)		0 (0)
		計	197 [10] (17 [0])	6 [0] (3 [0])	1 [0] (1 [0])	0 (0)	0 (0)		0 (0)
	(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			大学全体
		1,517㎡	299		172,055				
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
		2,188㎡	柔 道 ・ 剣 道 場		トレーニングセンター				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	金額変更（R5）
		教員 1 人当り研究費等	789千円	789千円	図書購入費	1,446千円 1,590千円	1,860千円	1,860千円	
		共 同 研 究 費 等	2,822千円	2,822千円	設備購入費	1,430千円	1,034千円	0千円	
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
		1,530千円	1,360千円	1,360千円	1,360千円	－ 千円	－ 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「（5）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（5）」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「（8）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学 の 名 称	福 井 工 業 大 学									平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	0	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	3	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	1
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考				
工学部	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度	-	令和5年度入学生より学生募集停止				
電気電子情報工学科	4	250	-	1,000	-	1.07	1.05	1.06	1.03	-	昭和40	福井市学園3-6-1					
機械工学科	4	80	-	320	学士(工学)	1.03	1.01	1.01	0.99	-	昭和40	同上					
建築土木工学科	4	80	-	320	学士(工学)	0.99	-	0.97	-	-	昭和40	同上					
原子力技術応用工学科	4	70	-	270	学士(工学)	1.21	1.19	1.20	1.18	-	平成24	同上					
環境学部	4	20	-	90	学士(工学)	1.04	1.01	1.09	1.06	-	平成17	同上					
環境食品応用化学科	4	90	-	630	-	1.02	1.00	1.00	-	-		-					
経営情報学科	4	40	-	170	学士(環境科学)	0.77	-	0.76	-	-	平成27	福井市学園3-6-1					
デザイン学科	4	-	-	260	学士(経営情報学)	1.15	1.13	-	-	-	平成27	同上					
経営情報学部	4	50	-	200	学士(デザイン学)	1.07	1.04	1.07	1.03	-	平成27	同上					
経営情報学科	4	90	-	90	-	1.12	-	1.12	-	-		-					
スポーツ健康科学部	4	90	-	90	学士(経営情報学)	1.12	-	1.12	-	-	令和5	福井市学園3-6-1					
スポーツ健康科学科	4	70	-	280	-	1.17	1.15	1.13	1.11	-		-					
大学全体	4	70	-	280	学士(スポーツ健康科学)	1.17	1.15	1.13	1.11	-	平成27	福井市学園3-6-1					
	4	500	-	2,000	-	-	1.05	-	-	-	-	-					

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
(様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率（控除後）」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「―」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「―」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率（控除後含む）」及び「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<経営情報学部 経営情報学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専 教授		馬場口 登 (65) <令和5年4月> 工学博士
		科学リテラシ AIと情報の倫理 課題研究 データサイエンス実習 ソフトウェア開発Ⅰ ソフトウェア開発Ⅱ データマイニング 卒業研究
専 教授		杉原 一臣 (46) <令和5年4月> 博士(工学)
		科学リテラシ 経営情報学概論 経営数理基礎 データと数学 プレゼンテーション技法 データサイエンス演習Ⅱ 経営情報実践学演習基礎 オペレーションズリサーチⅠ ビジネスプランニング 経営情報実践学演習 オペレーションズリサーチⅡ 卒業研究
専 教授		恐神 正博 (56) <令和5年4月> 博士(工学)
		プログラミング実習Ⅰ プログラミング実習Ⅱ データと情報の倫理 プレゼンテーション技法 データベース論Ⅰ 情報科教育法Ⅰ 情報科教育法Ⅱ 情報と職業 卒業研究
専 教授		北上 真二 (64) <令和5年4月> 博士(情報科学)
		ハードウェア概論 ネットワークシステム論 プログラミング実習Ⅲ 情報セキュリティ 経営情報実践学演習 システム工学 卒業研究
専 教授		谷垣 浩一 (53) <令和5年4月> 博士(国際情報通信学)
		情報数学 プログラミング実習Ⅰ プログラミング実習Ⅱ 機械学習Ⅰ インターンシップA インターンシップB データベース論Ⅱ 卒業研究
専 教授		田中 真由美 (47) <令和5年4月> 博士(経営学)
		簿記原理Ⅰ 簿記原理Ⅱ 原価計算 上級簿記Ⅰ 上級簿記Ⅱ 管理会計論 財務会計論 卒業研究
専 教授		木森 義隆 (46) <令和5年4月> 博士(情報工学)
		データ構造とアルゴリズム プログラミング実習Ⅳ コンピュータアーキテクチャ 機械学習Ⅱ 経営情報実践学演習基礎 データサイエンス実習 画像情報処理論 卒業研究
専 教授		可部 繁三郎 (61) <令和5年4月> 博士(経済学)
		コンピュータリテラシ 基礎統計学 経済分析基礎 マクロ経済分析 経営情報実践学演習基礎 政策科学Ⅱ 卒業研究
専 教授		野澤 智行 (57) <令和5年4月> 経営情報修士(専門職)
		ビジネスシミュレーション マーケティングⅠ マーケティングⅡ 社会調査論 データサイエンス実習 多変量解析 メディア論 卒業研究

【令和5年度】

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専 教授		馬場口 登 (66) <令和5年4月> 工学博士
		科学リテラシ AIと情報の倫理 課題研究 データサイエンス実習 ソフトウェア開発Ⅰ ソフトウェア開発Ⅱ データマイニング 卒業研究
専 教授		杉原 一臣 (47) <令和5年4月> 博士(工学)
		科学リテラシ 経営情報学概論 経営数理基礎 データと数学 プレゼンテーション技法 データサイエンス実習Ⅱ 経営情報実践学演習基礎 オペレーションズリサーチⅠ ビジネスプランニング 経営情報実践学演習 オペレーションズリサーチⅡ 卒業研究 数産数学
専 教授		恐神 正博 (57) <令和5年4月> 博士(工学)
		プログラミング実習Ⅰ プログラミング実習Ⅱ データと情報の倫理 プレゼンテーション技法 データベース論Ⅰ 情報科教育法Ⅰ 情報科教育法Ⅱ 情報と職業 卒業研究
専 教授		北上 真二 (65) <令和5年4月> 博士(情報科学)
		ハードウェア概論 ネットワークシステム論 プログラミング実習Ⅲ 情報セキュリティ 経営情報実践学演習 システム工学 卒業研究
専 教授		谷垣 浩一 (54) <令和5年4月> 博士(国際情報通信学)
		情報数学 プログラミング実習Ⅰ プログラミング実習Ⅱ 機械学習Ⅰ インターンシップA インターンシップB データベース論Ⅱ 卒業研究
専 教授		田中 真由美 (48) <令和5年4月> 博士(経営学)
		簿記原理Ⅰ 簿記原理Ⅱ 原価計算 上級簿記Ⅰ 上級簿記Ⅱ 管理会計論 財務会計論 卒業研究
専 教授		木森 義隆 (47) <令和5年4月> 博士(情報工学)
		データ構造とアルゴリズム プログラミング実習Ⅳ コンピュータアーキテクチャ 機械学習Ⅱ 経営情報実践学演習基礎 データサイエンス実習 画像情報処理論 卒業研究
専 教授		可部 繁三郎 (62) <令和5年4月> 博士(経済学)
		コンピュータリテラシ 基礎統計学 経済分析基礎 マクロ経済分析 経営情報実践学演習基礎 政策科学Ⅱ 卒業研究
専 教授		野澤 智行 (58) <令和5年4月> 経営情報修士(専門職)
		ビジネスシミュレーション マーケティングⅠ マーケティングⅡ 社会調査論 データサイエンス実習 多変量解析 メディア論 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	菊池 武晴 (50) ＜令和5年4月＞ 博士（経済学）	専	教授	菊池 武晴 (51) ＜令和5年4月＞ 博士（経済学）
		コンピュータリテラシ 環境科学 ミクロ経済分析 経営情報実践学演習基礎 経営情報実践学演習 費用便益分析 環境経営論 卒業研究			コンピュータリテラシ 環境科学 ミクロ経済分析 経営情報実践学演習基礎 経営情報実践学演習 費用便益分析 環境経営論 卒業研究
専	教授	藤田 幸敏 (59) ＜令和5年4月＞ 修士（経営学）	専	教授	藤田 幸敏 (60) ＜令和5年4月＞ 修士（経営学）
		ビジネスシミュレーション 課題研究 経営情報実践学演習基礎 地域共生学 データサイエンス実習 企業論 労務管理論 卒業研究			ビジネスシミュレーション 課題研究 経営情報実践学演習基礎 地域共生学 データサイエンス実習 企業論 労務管理論 卒業研究
専	准教授	近藤 智士 (47) ＜令和5年4月＞ 修士（社会工学）	専	准教授	近藤 智士 (48) ＜令和5年4月＞ 修士（社会工学）
		コンピュータリテラシ 政策科学概論 課題研究 政策科学Ⅰ 地域科学 ロジスティクスⅠ ロジスティクスⅡ 地域産業論 卒業研究			コンピュータリテラシ 政策科学概論 課題研究 政策科学Ⅰ 地域科学 ロジスティクスⅠ ロジスティクスⅡ 地域産業論 卒業研究 キャリアデザイン
専	講師	岩本 朋大 (30) ＜令和5年4月＞ 博士（経済学）	専	講師	岩本 朋大 (31) ＜令和5年4月＞ 博士（経済学）
		プログラミング実習Ⅰ データサイエンス概論 データサイエンス演習Ⅰ 産業連関分析 データサイエンス実習 地域データ解析 卒業研究			プログラミング実習Ⅰ データサイエンス概論 データサイエンス演習Ⅰ 産業連関分析 データサイエンス実習 地域データ解析 卒業研究
専	講師	島中 賢治 (29) ＜令和5年4月＞ 博士（経営学）	専	講師	島中 賢治 (30) ＜令和5年4月＞ 博士（経営学）
		プログラミング実習Ⅱ データサイエンス演習Ⅰ ファイナンス 統計学演習 データサイエンス実習 計量モデル分析 卒業研究			プログラミング実習Ⅱ データサイエンス演習Ⅰ ファイナンス 統計学演習 データサイエンス実習 計量モデル分析 卒業研究
兼任	教授	矢部 希見子 (67) ＜令和5年4月＞ 理学博士	兼任	教授	矢部 希見子 (68) ＜令和5年4月＞ 理学博士
		科学リテラシ			科学リテラシ
兼任	教授	笠井 利浩 (53) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）	兼任	教授	笠井 利浩 (54) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）
		科学リテラシ			科学リテラシ
			兼任	教授	木村 恒久 (70) ＜令和5年4月＞ 工学博士
					微分積分学
兼任	教授	三寺 潤 (48) ＜令和5年4月＞ 博士（工学）			
		数学基礎			
			兼任	教授	池田 喬史 (53) ＜令和5年4月＞ 博士（学術）
					科学リテラシ
兼任	教授	趙 領逸 (49) ＜令和5年4月＞ 博士（感性科学）			
		科学リテラシ			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	杉浦 宏季 (37) <令和5年4月> 博士(学術)			
		基礎健康科学			
			兼担	教授	中塚内 祐一 (55) <令和5年4月> 学士(体育学)
					基礎健康科学
兼任	教授	荒木 史代 (50) <令和5年4月> 博士(教育学)			荒木 史代 (51) <令和5年4月> 博士(教育学)
		心理学入門－こころのはたらき 教育心理学 発達心理学 生徒・進路指導論 学校教育相談	兼担	教授	心理学入門－こころのはたらき 教育心理学 発達心理学 生徒・進路指導論 学校教育相談 特別支援教育
兼任	教授	入学 直哉 (50) <令和5年4月> 修士(文学)			入学 直哉 (51) <令和5年4月> 修士(文学)
		TOEICⅡ TOEICⅢ 海外語学研修Ⅰ 海外語学研修Ⅱ 海外語学研修Ⅲ 海外語学研修Ⅳ	兼担	教授	TOEICⅡ TOEICⅢ 海外語学研修Ⅰ 海外語学研修Ⅱ 海外語学研修Ⅲ 海外語学研修Ⅳ
兼任	准教授	中道 正紀 (40) <令和6年4月> 博士(工学)			中道 正紀 (41) <令和6年4月> 博士(工学)
		地域共生学	兼担	教授	地域共生学
兼任	准教授	村井 陽平 (34) <令和5年4月> 博士(美術)			
		科学リテラシ			
兼任	准教授	辻本 典央 (39) <令和5年4月> 博士(教育学)			小川 貴史 (41) <令和5年4月> 博士(工学)
		科学リテラシ	兼担	准教授	科学リテラシ
兼任	准教授	辻本 典央 (40) <令和5年4月> 博士(教育学)			辻本 典央 (40) <令和5年4月> 博士(教育学)
		科学リテラシ	兼担	准教授	科学リテラシ
			兼担	准教授	磯 康雄 (37) <令和5年4月> 博士(工学)
					科学リテラシ
兼任	准教授	松越 達也 (55) <令和5年4月> 博士(学術)			
		科学リテラシ			
兼任	准教授	ブラッド・フォード リー (43) <令和5年4月> Doctor of Education			ブラッド・フォード リー (44) <令和5年4月> Doctor of Education
		リスニングⅠ TOEICⅣ ビジネスコミュニケーションⅣ	兼担	教授	リスニングⅡ TOEICⅣ ビジネスコミュニケーションⅣ
兼任	准教授	野村 直希 (33) <令和5年4月> 博士(工学)			
		数産数学			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任 講師		トコワ サム (37) <令和7年4月> master of Arts in Geography TOEIC テクニカルコミュニケーション I テクニカルコミュニケーション II テクニカルコミュニケーション III テクニカルコミュニケーション	兼任 准教授		トコワ サム (38) <令和7年4月> master of Arts in Geography TOEIC テクニカルコミュニケーション I テクニカルコミュニケーション II テクニカルコミュニケーション III テクニカルコミュニケーション
兼任 講師		サキナリ オオノ (49) <令和5年4月> Bachelor of Arts(Japanese) リスニングI リスニングII ベーシックコミュニケーション I アドバンストコミュニケーション I	兼任 講師		サキナリ オオノ (50) <令和5年4月> Bachelor of Arts(Japanese) リスニングI ベーシックコミュニケーション I アドバンストコミュニケーション I ベーシックコミュニケーション II
兼任 講師		クリスティー ビー (33) <令和5年4月> Master of Arts (Teaching English) リスニングI リスニングII TOEIC ベーシックコミュニケーション II ビジネスコミュニケーションII	兼任 講師		クリスティー ビー (34) <令和5年4月> Master of Arts (Teaching English) リスニングI リスニングII TOEIC ベーシックコミュニケーション II ビジネスコミュニケーションII ベーシックコミュニケーション I
兼任 講師		福田 修 (62) <令和5年4月> 学士(文学) 日本語の基礎 日本語表現法I 日本語表現法II	兼任 講師		福田 修 (63) <令和5年4月> 学士(文学) 日本語表現法I 日本語表現法II
兼任 講師		森 直哉 (33) <令和5年4月> 修士(英語学) TOEIC TOEICIII	兼任 講師		森 直哉 (34) <令和5年4月> 修士(英語学) TOEIC TOEICIII リスニングII
兼任 講師		平松 正尚 (60) <令和5年4月> 学士(理学) 数学基礎 教職論 総合的な学習の時間の指導法 生徒・進路指導論 教育実習I 教育実習II 教職実践演習(中・高)	兼任 講師		平松 正尚 (61) <令和5年4月> 学士(理学) 教職論 総合的な学習の時間の指導法 生徒・進路指導論 教育実習I 教育実習II 教職実践演習(中・高) 教育実習III
兼任 助教		イトウノ ハト (37) <令和5年4月> Bachelor of Arts (East Asian Cultures) リスニングI 比較文化論－世界の文化	兼任 助教		イトウノ ハト (38) <令和5年4月> Bachelor of Arts (East Asian Cultures) 比較文化論－世界の文化 ベーシックコミュニケーション I
兼任 助教		クニノト アサヒ (45) <令和5年4月> Bachelor of Arts(Design) ベーシックコミュニケーション I アドバンストコミュニケーション I アドバンストコミュニケーション II ビジネスコミュニケーションI ビジネスコミュニケーションII	兼任 助教		クニノト アサヒ (46) <令和5年4月> Bachelor of Arts(Design) ベーシックコミュニケーション II アドバンストコミュニケーション I アドバンストコミュニケーション II ビジネスコミュニケーションI ビジネスコミュニケーションII
兼任 助教		デーモ ジェフリー (36) <令和5年4月> master of Arts Communication リスニングI リスニングII ベーシックコミュニケーション II ビジネスコミュニケーションI ビジネスコミュニケーションII	兼任 助教		デーモ ジェフリー (37) <令和5年4月> master of Arts Communication リスニングI リスニングII ベーシックコミュニケーション II ビジネスコミュニケーションI ビジネスコミュニケーションII
兼任 助教		ジヤコビニ ベイ (37) <令和5年4月> MA in Linguistics and TESOL リスニングII アドバンストコミュニケーション I アドバンストコミュニケーション II ビジネスコミュニケーションIII			
兼任 助教		レブ アーランド (26) <令和5年4月> Bachelor of Arts(Writing) リスニングII ベーシックコミュニケーション II アドバンストコミュニケーション I ビジネスコミュニケーションIII	兼任 助教		レブ アーランド (27) <令和5年4月> Bachelor of Arts(Writing) リスニングII ベーシックコミュニケーション II アドバンストコミュニケーション I ビジネスコミュニケーションIII リスニングI ベーシックコミュニケーション II
兼任 助教		ケイコ マスミ (46) <令和5年4月> master of Management ベーシックコミュニケーション I ビジネスコミュニケーションI	兼任 助教		ケイコ マスミ (47) <令和5年4月> master of Management ベーシックコミュニケーション I ビジネスコミュニケーションI

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
			兼担 助教		ダニエル・ケッ (38) <令和5年4月> 学士(神学)
					リスニングⅠ
兼任	講師	中村 晶子 (63) <令和5年4月> 学士(工学)	兼任		中村 晶子 (65) <令和5年4月> 学士(工学)
		キャリアデザイン キャリアアップゼミⅠ キャリアアップゼミⅡ 企業研究Ⅰ 企業研究Ⅱ インターンシップA インターンシップB			キャリアデザイン キャリアアップゼミⅠ キャリアアップゼミⅡ 企業研究Ⅰ 企業研究Ⅱ インターンシップA インターンシップB
			兼担 講師		中巻 美子 (53) <令和5年4月> 修士(教育学)
					英語数学 データと数学
兼任	講師	武内 昭子 (59) <令和5年4月> 学士(人文学)	兼任	講師	武内 昭子 (61) <令和5年4月> 学士(人文学)
		女性学入門－女性の生き方論			女性学入門－女性の生き方論 コミュニケーション論
兼任	講師	熊谷 高幸 (74) <令和5年4月> 修士(教育学)			
		コミュニケーション論 マスコミ論－新聞を読み解く力 特別支援教育			
兼任	講師	丹羽 俊彦 (68) <令和6年4月> 学士(経済学)	兼任	講師	丹羽 俊彦 (70) <令和6年4月> 学士(経済学)
		人と社会			人と社会
兼任	講師	高橋 功 (45) <令和6年4月> 修士(法学)	兼任	講師	高橋 功 (47) <令和6年4月> 修士(法学)
		日本国憲法			日本国憲法
兼任	講師	坂田 興司 (73) <令和6年4月> 学士(法学)			
		法学入門－市民社会と法 経済学入門－現代社会と経済			
兼任	講師	三井 哲夫 (71) <令和5年4月> 学士(文学)	兼任	講師	三井 哲夫 (73) <令和5年4月> 学士(文学)
		哲学入門－人生哲学 日本文化の歴史			哲学入門－人生哲学 日本文化の歴史
兼任	講師	北村 泰生 (66) <令和5年4月> 学士(工学)	兼任	講師	北村 泰生 (68) <令和5年4月> 学士(工学)
		情報と職業			情報と職業
兼任	講師	片野 正人 (66) <令和6年4月> 学士(教育学)	兼任	講師	片野 正人 (68) <令和6年4月> 学士(教育学)
		TOEICⅠ TOEICⅡ TOEICⅣ			TOEICⅠ TOEICⅡ TOEICⅣ
兼任	講師	勝木 博一 (61) <令和6年4月> 学士(教育学)	兼任	講師	勝木 博一 (63) <令和6年4月> 学士(教育学)
		TOEICⅡ TOEICⅢ			TOEICⅡ TOEICⅢ
兼任	講師	水野 興修 (69) <令和5年4月> 学士(文学)	兼任	講師	水野 興修 (71) <令和5年4月> 学士(文学)
		日本語の基礎 日本語表現法Ⅰ			日本語の基礎 日本語表現法Ⅰ
兼任	講師	前田 義照 (72) <令和5年4月> 学士(教育学)			
		日本語表現法Ⅰ 日本語表現法Ⅱ			
兼任	講師	直正 修一 (66) <令和5年4月> 学士(教育学)	兼任	講師	直正 修一 (68) <令和5年4月> 学士(教育学)
		日本語の基礎 日本語表現法Ⅰ 文学入門－小説・詩の世界			文学入門－小説・詩の世界

専任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	赤澤 孝 (73) ＜令和5年4月＞ 学士（教育学）
		数学基礎 教育経営論 特別支援教育 総合的な学習の時間の指導法
兼任	講師	金子 宏之 (55) ＜令和5年4月＞ 修士（経済学）
		数学基礎
兼任	講師	上村 洋幸 (66) ＜令和5年4月＞ 学士（理学）
		微分積分学
兼任	講師	塩谷 昌史 (53) ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		知的財産概論Ⅰ
兼任	講師	中井 俊 (55) ＜令和6年4月＞ 学士（工学）
		知的財産概論Ⅱ
兼任	講師	小用 広隆 (48) ＜令和6年4月＞ 修士（工学）
		知的財産概論Ⅱ
兼任	講師	西尾 光彦 (40) ＜令和6年4月＞ 修士（工学）
		知的財産概論Ⅱ

専任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	安藤 通 (68) ＜令和5年4月＞ 学士（文学）
		日本語の基礎 日本語表現Ⅰ
兼任	講師	藤 利弘 (67) ＜令和5年4月＞ 学士（文学）
		日本語の基礎 日本語表現Ⅰ
兼任	講師	金子 宏之 (57) ＜令和5年4月＞ 修士（経済学）
		数学基礎 経済学入門－現代社会と経済
兼任	講師	上村 洋幸 (68) ＜令和5年4月＞ 学士（理学）
		微分積分学
兼任	講師	塩谷 昌史 (55) ＜令和6年4月＞ 博士（学術）
		知的財産概論Ⅰ
兼任	講師	中井 俊 (57) ＜令和6年4月＞ 学士（工学）
		知的財産概論Ⅱ
兼任	講師	小用 広隆 (50) ＜令和6年4月＞ 修士（工学）
		知的財産概論Ⅱ
兼任	講師	西尾 光彦 (42) ＜令和6年4月＞ 修士（工学）
		知的財産概論Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	古市 直樹 (36) ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		教育原理 教育課程論
兼任	講師	岸 俊行 (45) ＜令和6年4月＞ 博士（人間科学）
		教育心理学
兼任	講師	川崎 清美 (64) ＜令和6年4月＞ 学士（教育学）
		道徳教育
兼任	講師	松本 高宣 (64) ＜令和7年4月＞ 学士（教育学）
		特別活動論
兼任	講師	高阪 将人 (38) ＜令和6年4月＞ 博士（教育学）
		教育方法
兼任	講師	淵本 幸嗣 (64) ＜令和8年4月＞ 学士（教育学）
		教育実践演習（中・高）

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	古市 直樹 (38) ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		教育原理 教育課程論
兼任	講師	岸 俊行 (47) ＜令和6年4月＞ 博士（人間科学）
		教育心理学
兼任	講師	高橋 知己 (61) ＜令和6年4月＞ 修士（教育学）
		道徳教育
兼任	講師	松本 高宣 (66) ＜令和7年4月＞ 学士（教育学）
		特別活動論
兼任	講師	高阪 将人 (40) ＜令和6年4月＞ 博士（教育学）
		教育方法
兼任	講師	淵本 幸嗣 (67) ＜令和8年4月＞ 学士（教育学）
		教育実践演習（中・高）

〔注〕 ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。

その上で、各年度については、**属望職又は届出時から変更となっている属所は赤字の赤字としてください。**

- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の属年齢**を記入してください。
- ・ 専任（専門職大学等は専・実専・実（研）、実（研））、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目の授業科目名を記入するとともに、下段に：

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

兼任教員の退職、適正なクラス人数への調整のため、担当教員の追加や別の教員への科目の変更を行った。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ ＡＣ教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2) - ② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
14	7
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
11	1	2	0	14	0	11	1	2	0	14	0
(11)	(1)	(2)	(0)	(14)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
11	1	2	0	14	0	11	1	2	0	14	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
60	4	6
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{14}{14} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{4}{14} = \boxed{28.57} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	-	-	-	-	-	-	-			
				-	-	-				
				-	-	-				
2	-	-	-	-	-	-	-			
				-	-	-				
				-	-	-				
合 計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）	③の合計数（c）		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	-	-	-	-	-	-	-			
				-	-	-				
				-	-	-				
2	-	-	-	-	-	-	-			
				-	-	-				
				-	-	-				
合計（F）						後任補充状況の集計（G）				
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)							
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目		
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目		
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目		

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{14} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で**赤字**で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
- ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) ー⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	-	-	-	-	-	-				
			-	-	-					
			-	-	-					
2	-	-	-	-	-	-				
			-	-	-					
			-	-	-					
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

なし

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時 (令和4年)	・完成年度前に、定年 規程に定める退職年齢 を超える専任教員数の 割合が高いことから、 定年規程の趣旨を踏ま えた適切な運用に努め るとともに、教員組織 編制の将来構想につい て着実に実施すること。 【届出】 遵守事項	設置届出時と同じ教員にて学部学科 運営を行っている。	履行中 附帯事項の内容に対応するため、定 年を超えた教員の雇用について、将 来的な学部学科の効果的な運営を考 慮しつつ、公募を中心とした採用人 事を実施する。専門的な知見を有す る若手教員を採用し、定年を超えた 専任教員が過多にならないよう中長 期的な採用計画を立案し、実施して いく。

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「（４）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（５）」と記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「（４）（５）」と記載してください。

【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（５）」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。

その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<経営情報学部 経営情報学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

大学にFD・SD推進委員会（学部・大学院共通）を設置している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

FD・SD推進委員会は、教員及び職員から選出された委員によって構成され、年間3～5回の開催を行い、構成員のほぼ全教職員が出席している。

c 委員会の審議事項等

下記②aの実施内容に関する協議等を実施し、審議内容の記録を学内ホームページで公開している。

② 実施状況

a 実施内容

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| (1) 教職員説明会の開催 | (5) 授業評価シートの作成依頼、とりまとめ |
| (2) 授業公開と見学・懇談会の実施 | (6) オフィス・アワーの実施 |
| (3) FDシンポジウムの開催 | (7) 教員ハンドブックの作成 |
| (4) 授業評価アンケート | (8) 機関紙「FDコミュニケーションズ」発行 |

b 実施方法

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| (1) 毎年5～6月に教職員へ向け開催 | (5) 学期毎に教員へ向けて実施 |
| (2) 学期毎に実施、見学の後、懇談会を実施 | (6) 全教員が実施、学生対応が可能な時間を確保 |
| (3) 年に一回、企画 | (7) 毎年改訂を行い、教員へ配布 |
| (4) 学期毎に学生に向けて実施 | (8) 年に1～2回刊行し、全教職員へ配布 |

c 開催状況（教員の参加状況含む）

全教員が実施内容に賛同し、ほぼ全ての教員が取り組んでいる。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- (2) 授業公開後は、ピアレビューにより懇談（討論）会を開き、授業改善に役立てる取組となっている。
- (4) 教員は授業前半でのアンケート結果を参考にして、授業の検証を行いつつ改善に取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

毎年、全教員が全ての授業で前後期年2回実施している。授業前半での最初のアンケートを参考にして、後半でもアンケートをとり、授業改善に反映できる仕組みになっている。

b 教員や学生への公開状況、方法等

全教員に全員の結果を配布し、FD・SD推進委員会において内容の検討改善を図っている。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

令和5年4月に経営情報学部を開設し、前年4月に提出した設置届出にかかる基本計画書に則り、教育・研究等を展開している。

また地域社会や高等学校等の需要に応え、広報活動及び入試選抜を展開した結果、定員を充足している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和6年3月 公表（予定）

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

・令和8年に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有]

b 公表（予定）時期 [公表後2～3ヶ月以内]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。